

日本水彩畫會橫濱支部規定

一、本會は業務又は勉學の餘暇水彩畫を學ばんとする同好者を以て組織す

一、本會は男女を問はず斯道に興味を有するものゝ入會を許す

一、本會は毎月一回講師として日本水彩畫會より水野以文氏を聘す

一、學科は鉛筆畫、一色畫、水彩畫等とす

一、講師出張は毎月第一日曜日午前九時より午后四時迄とす

但し都合に依り變更するもあるべし

一、會場は伊勢山太神宮前坂本幼稚園とす

但し晴天の日は大抵戶外寫生雨天の日は會場にて靜物寫生右の中適宜の時間を計り講師に作品の批評を乞ふ

一、入會希望者は横濱市英町二ノ十四高島和雄方に申込むべし

一、本會々員は入會の際記名料として金五拾錢を納め會費として毎月(出缺席の有無に關せず)金五拾錢を納むべし

但し地方會員は毎月出席困難なるべきにより特に毎月金拾錢を納め出席の際のみ金五拾錢を納むるものとす

一、本會々員にして退會希望のものは其旨幹事に申込むべし

一、本會は退會者中特に有志のものを會友とし以て永く本會と關係を持續せんとを希望す

一、本會々友は會費として毎月金五錢を納むべし(但し退會者に限る)會友は臨時寫生會其他諸會に本會より通知を受け

會員同等の權利を以て是に列席することを得費用は總て實費負擔のと

一、本會々員若しくは會友にして三ヶ月以上會費を滞納せるものは退會と見爲す

一、本會は毎月一回(大抵第三日曜日)隨所に臨時寫生會を催す時間及場所は其の都度通知すべし

以上

幹事 田中太郎吉

明治四十五年一月改正

全 高島 和雄

下關洋畫研究會展覽會 (報告)

美しい關門海峡の一角に於て、新春の五、六兩日、洋畫展覽會を開催した。今度の企ては、豫てから計畫してあつた譯ではなく、斯う云ふ氣運に向つて居る矢先へ一人、二人の小さな聲で叫びだす者があつて、忽ち、石油を一時に注ひた様にポツト燃え上つたのだ、其勢は實に熱烈なもので會員は東奔西走、殆んど夜の目もまじりと眠らなかつた位ひであつた、斯して集つた繪は二百五十餘點、其中から百七十點だけ撰むて陳列することにした、それが各々額縁に入れてあつたのは、地方の展覽會としては珍らしい出来であつた。會場は壬子町文關尋常小學校内で、三室に別つて陳列した。作品は水彩畫が最も多數を占め、油繪、バステル等もあつた、總て小品の多いのは止むを得ないが中には半切位な、可なり大作も數點あつた。出品者は杉田、安廣、森川、阿川、赤松、南保、鳥越、淺枝、名古屋、萩野、